

ANA VISION 2017

第72回 定時株主総会決議ご通知 第67期のご報告(2016年4月1日～2017年3月31日)

■成長するLCC市場に挑む—ANAグループの新LCC事業戦略

東京都港区東新橋一丁目5番2号
ANAホールディングス株式会社
代表取締役社長 片野坂 真哉

第72回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
本日開催の当社第72回定時株主総会におきまして、下記の通り報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

敬具

記

- 報告事項**
1. 第67期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第67期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)計算書類報告の件
- 本件は上記報告事項の内容を報告いたしました。

決議事項**第1号議案 剰余金処分の件**

本件は原案通り承認可決され、期末配当金は1株につき6円とさせていただきます。

第2号議案 株式併合の件

本件は原案通り承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株を1株に併合することを決定しました。なお、株式併合に伴い、会社法第182条第2項の定めに基づき、平成29年10月1日をもって発行可能株式総数を51億株から5億1千万株に変更いたします。

第3号議案 定款一部変更の件

本件は原案通り承認可決され、平成29年10月1日をもって次の通り変更することを決定しました。

変更前	変更後
第8条(単元株式数) 本会社の単元株式数は1,000株とする。	第8条(単元株式数) 本会社の単元株式数は100株とする。

第4号議案 取締役10名選任の件

本件は原案通り承認可決され、取締役に伊東 信一郎、篠辺 修、片野坂 真哉、長峯 豊之、石坂 直人、高田 直人、平子 裕志、森 詳介、山本 亜土、小林 いずみの各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第5号議案 監査役2名選任の件

本件は原案通り承認可決され、監査役に殿元 清司、長谷川 昭彦の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

期末配当金のお支払いについて

第67期期末配当金は同封の「第67期期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行本支店および出張所ならびに郵便局で、払渡期間内(平成29年6月26日(月)から同年7月31日(月)まで)にお受け取りください。

なお、お振込先をご指定の方には、「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご選択の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封しておりますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。また、株式数比例配分方式をご選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の証券会社等へお問い合わせください。

※同封しております「配当金計算書」が「支払通知書」を兼ね、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただけますので、お手元に保管願います。

全事業での業績向上に取り組んでまいります



ANAホールディングス株式会社
代表取締役社長

片野坂 真哉

2017年6月

株主・投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年3月期は、英国のEU離脱、米国での新政権誕生、中東をはじめとする地政学リスクの高まりなどを受け世界経済が揺れ動く中でも、主力の航空事業が、とりわけ国際線旅客事業において、伸びゆく需要を確実に捉えた結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を更新しました。

配当は予定通り、1株当たり6円とさせていただきます。

2018年3月期は、昨年1月に策定した「2016～2020年度ANAグループ中期経営戦略」の柱に掲げた「エアライン事業領域の拡大」「新規事業の創造と既存事業の成長加速」を堅持し、攻めのスピード経営の実践により、LCC事業の一翼を担うピーチ・アビエーションの連結化を行うとともに、経営環境の変化を踏まえて修正した価値創造目標を着実に達成し、増収増益を目指してまいります。

株式併合後の配当は、1株当たり60円を予定しております。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年に向け2019年3月期までの2年間を、「安全」を最優先に品質・サービスを総点検して経営基盤を固める期間と位置付け、新たな成長に備えてまいります。さらに、英国スカイトラックス社より世界で最高評価となる「5スター」に5年連続で認定された品質を強みに、これからもお客様に選ばれ続けるリーディングエアライングループとなることを目指して、全ての事業で業績の向上に取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きANAグループにご期待いただき、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

連結業績報告

2016年4月1日～2017年3月31日

燃油費の減少やコストマネジメントの強化により費用を抑制、過去最高益を更新

A 売上高・営業費用

- 売上高は主力の航空事業が為替の円高シフトによる影響で減収となったこと等により、前期から1.4%減少。
- 営業費用は燃油市況の下落の他、コストマネジメントを強化したこと等により、前期から2.1%減少。

B 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

- 営業利益は1,455億円、経常利益は1,403億円、親会社株主に帰属する当期純利益は988億円となり、いずれも過去最高を更新。

C 包括利益

- 繰延ヘッジ損益がプラスに転じる等、前期から1,407億円増加。

D 有利子負債残高

- 社債の発行、新規借入による資金調達等により、7,298億円に。

E 自己資本、自己資本比率

- 自己資本は利益剰余金の増加等により、9,191億円に。
- 自己資本比率は前期末から4.3ポイント増加して39.7%に。

F 設備投資

- 新たな航空機の取得等、2,544億円の設備投資を実施。

※決算に関する資料は当社ホームページでもご覧になれます。

www.ana.co.jp/group/investors/

ANAホールディングス 株主・投資家情報

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 億円)	前期	当期	増減	前期比増減率(%)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,638	2,370	△ 267	△ 10.2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 744	△ 1,946	△ 1,202	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,332	33	1,366	—
現金及び現金同等物期末残高	2,651	3,090	439	16.6
減価償却費	1,388	1,403	15	1.1
F 設備投資(固定資産のみ)	2,814	2,544	△ 269	△ 9.6

●営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益

(単位 億円)



●連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(単位 億円)	前期	当期	増減	前期比増減率(%)
【連結損益計算書】				
A 売上高	17,911	17,652	△ 259	△ 1.4
営業費用	16,547	16,197	△ 350	△ 2.1
営業利益	1,364	1,455	90	6.7
営業外収益	159	150	△ 9	△ 5.7
営業外費用	216	202	△ 14	△ 6.8
経常利益	1,307	1,403	96	7.4
特別利益	58	22	△ 35	△ 61.1
B 特別損失	55	31	△ 23	△ 42.3
税金等調整前当期純利益	1,310	1,394	83	6.4
法人税、住民税及び事業税	604	415	△ 188	△ 31.2
法人税等調整額	△ 79	△ 14	65	—
当期純利益	785	993	207	26.4
非支配株主に帰属する当期純利益	4	4	+0	15.1
親会社株主に帰属する当期純利益	781	988	206	26.4
(EBITDA)※1	(2,752)	(2,858)	(106)	(3.9)
【連結包括利益計算書】				
当期純利益	785	993	207	26.4
その他の包括利益	△ 737	463	1,200	—
C 包括利益	48	1,456	1,407	2,917.2

※1 EBITDA=営業利益+減価償却費

※金額は表示単位未満の端数を切り捨てています。

※前期は2015年4月1日～2016年3月31日、

当期は2016年4月1日～2017年3月31日です。

※前期末は2016年3月31日現在、当期末は2017年3月31日現在です。

●総資産、自己資本※2、自己資本比率

(単位 億円)



●連結貸借対照表

(単位 億円)

	前期末	当期末	増減
資産の部			
流動資産	6,311	6,667	355
現金及び預金	552	608	55
受取手形及び営業未収入金	1,394	1,558	164
有価証券	2,223	2,579	355
商品	100	99	△ 0
貯蔵品	518	549	31
繰延税金資産	508	361	△ 146
その他	1,014	909	△ 104
固定資産	15,970	16,471	500
有形固定資産	13,279	13,602	323
建物及び構築物	1,072	1,009	△ 63
航空機	9,318	10,077	758
土地	496	498	2
リース資産	99	84	△ 14
建設仮勘定	1,856	1,518	△ 337
その他	436	413	△ 22
無形固定資産	807	890	82
投資その他の資産	1,883	1,978	95
投資有価証券	1,055	1,193	138
繰延税金資産	559	527	△ 32
その他	268	257	△ 10
繰延資産	5	5	△ 0
資産合計	22,288	23,144	856

※2 自己資本は純資産合計から非支配株主持分を控除しています。

※3 有利子負債残高にはオフバランスリース負債は含まれません。

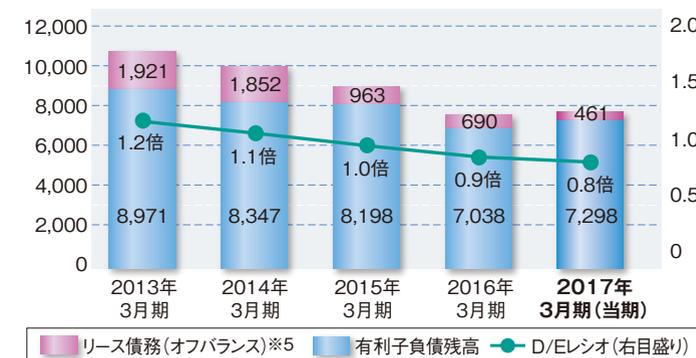
※4 D/Eレシオ=有利子負債残高÷自己資本

連結対象会社の状況(2017年3月31日現在)

- ・連結子会社 63社(新規2社、除外1社)
- ・持分法適用会社 17社(新規1社、除外2社)

●有利子負債残高※3、D/Eレシオ※4

(単位 億円)



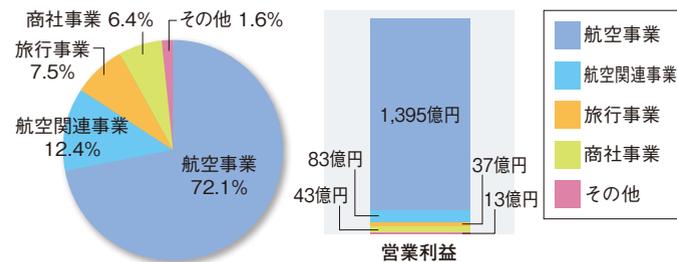
※5 オペレーティングリース等に係る未経過リース料 ※6 自己資本比率はポイントです。

	前期末	当期末	増減※6
負債の部			
流動負債	5,854	5,726	△ 128
支払手形及び営業未払金	1,661	1,792	131
1年内返済予定の長期借入金	868	932	64
1年内償還予定の社債	—	200	200
その他	3,325	2,801	△ 524
固定負債	8,484	8,175	△ 308
社債	1,050	1,250	200
長期借入金	4,881	4,696	△ 185
退職給付に係る負債(引当金)	1,633	1,567	△ 66
その他	918	661	△ 257
負債合計	14,339	13,902	△ 436
D(有利子負債)※3	(7,038)	(7,298)	(259)
(D/Eレシオ(倍))※4	(0.9)	(0.8)	(△ 0.1)
純資産の部			
株主資本	8,502	9,331	828
資本金	3,187	3,187	0
資本剰余金	2,827	2,832	4
利益剰余金	2,535	3,348	813
自己株式	△ 48	△ 37	10
E(自己資本)※2	(7,898)	(9,191)	(1,292)
(自己資本比率(%))	(35.4)	(39.7)	(4.3)
その他の包括利益累計額	△ 603	△ 140	463
その他有価証券評価差額金	195	206	11
繰延ヘッジ損益	△ 516	△ 117	398
為替換算調整勘定	38	33	△ 5
退職給付に係る調整累計額	△ 321	△ 262	59
非支配株主持分	50	50	0
純資産合計	7,949	9,241	1,292
負債純資産合計	22,288	23,144	856

セグメント別の概況

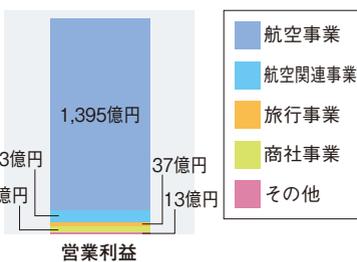
2016年4月1日～2017年3月31日

●セグメント別売上高構成比*



*セグメント別売上高構成比・営業利益共にセグメント間の内部取引を含んでいます。

●セグメント別営業利益*



●セグメント別売上高と営業利益

■航空事業(右ページもご覧ください)

(単位 億円)

- 燃料特別付加運賃収入や外貨建て収入の減少等により減収。
- 事業規模拡大に伴う費用増はあったが、燃油市況の下落、コストマネジメントの強化で、営業利益は前期並みを確保。



[対前期比]
売上高 1.1%減
営業利益 0.2%減

■航空関連事業

(単位 億円)

- 羽田空港や関西空港での空港地上支援業務の受託増加。
- マイレージプログラム等を通じてマーケティング活動を行う子会社「ANA X株式会社」営業開始。



[対前期比]
売上高 14.0%増
営業利益 黒字転換

※金額・数量は、表示単位未満の端数を切り捨てています。
※前期は2015年4月1日～2016年3月31日、
当期は2016年4月1日～2017年3月31日です。
※利用率・貨物重量利用率の増減率(%)は前期差(ポイント)を示しています。

■旅行事業

- 国内旅行主力商品「ANAスカイホリデー」は熊本地震の影響等、海外旅行主力商品「ANAハローツアー」はテロの影響等により減収。
- 訪日旅行は競争激化で取扱高が減少。

[対前期比]
売上高 4.0%減
営業利益 12.8%減



■商社事業

- 空港免税店「ANA DUTY FREE SHOP」や空港物販店「ANA FESTA」の売上高は前期に比べ微減。
- 食品部門、航空・電子部門は減収。

[対前期比]
売上高 2.5%減
営業利益 17.5%減



■その他

- 不動産関連事業が堅調に推移して増収となるも減益に。

[対前期比]
売上高 3.0%増
営業利益 17.5%減



■航空事業

国内線旅客

- 需要喚起策で旅客数は前期を上回るも旅客単価の低下で減収。
- 羽田一宮古線の開設、エアバスA321ceo型機の運航開始。
- 自然災害による国内被災地への応援プロジェクトを実施。

	前期	当期	増減率(%)
旅客収入 (億円)	6,856	6,783	△ 1.1
旅客数 (万人)	4,266	4,296	0.7
座席キロ※1 (億席キロ)	594	590	△ 0.6
旅客キロ※2 (億人キロ)	384	389	1.4
利用率※3 (%)	64.7	66.0	1.3

貨物

- 国内線の需要は低調に推移。
- 国際線は三国間需要の取り込み等で輸送重量が増加。
- 国際線貨物収入の計上方法の変更※7等により減収。

国内線貨物	前期	当期	増減率(%)
貨物収入 (億円)	317	308	△ 2.8
有効貨物トンキロ※4 (百万トンキロ)	1,850	1,783	△ 3.6
貨物輸送重量 (千トン)	466	451	△ 3.4
貨物トンキロ※5 (百万トンキロ)	472	459	△ 2.7
貨物重量利用率※6 (%)	27.4	27.6	0.3
国際線貨物	前期	当期	増減率(%)
貨物収入 (億円)	1,133	933	△ 17.7
有効貨物トンキロ※4 (百万トンキロ)	6,040	6,583	9.0
貨物輸送重量 (千トン)	810	954	17.7
貨物トンキロ※5 (百万トンキロ)	3,532	4,150	17.5
貨物重量利用率※6 (%)	60.9	65.0	4.2

※1 座席キロ=有効座席数×各区間距離(キロメートル)
 ※2 旅客キロ=旅客数×各区間距離(キロメートル)
 ※3 利用率=旅客キロ÷座席キロ
 ※4 有効貨物トンキロ=有効(搭載可能)貨物重量(トン)×各区間距離(キロメートル)
 ※5 貨物トンキロ=貨物輸送重量(トン)×各区間距離(キロメートル)
 ※6 貨物重量利用率=(貨物トンキロ+郵便トンキロ)÷有効貨物トンキロ
 ※7 当第1四半期から代理店向け「国際貨物販売手数料」を廃止したことにより、貨物郵便収入および収入連動費用から「国際貨物販売手数料」相当額を差し引いています。

※決算に関する資料は当社ホームページでもご覧になれます。

www.ana.co.jp/group/investors/

ANAホールディングス 株主・投資家情報 検索

国際線旅客

- ビジネス需要、訪日需要が共に好調で増収。
- 成田から武漢線・プノンペン線・メキシコシティ線、羽田からニューヨーク線・シカゴ線・クアラルンプール線を開設。

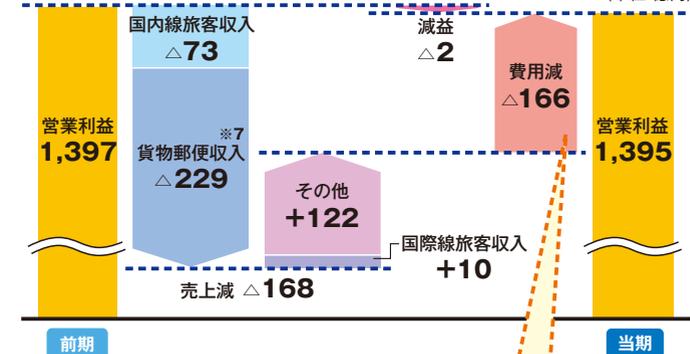
	前期	当期	増減率(%)
旅客収入 (億円)	5,156	5,167	0.2
旅客数 (万人)	816	911	11.6
座席キロ※1 (億席キロ)	547	601	9.9
旅客キロ※2 (億人キロ)	406	456	12.2
利用率※3 (%)	74.3	75.8	1.5

航空事業におけるその他

- その他収入は2,087億円で前期から6.2%増加。
- バニラエアは12機に増機。関西一台北線、関西一奄美大島線等、国際線4路線・国内線4路線を開設。
(バニラエア輸送実績)
旅客数:212万9千人(前期から25.9%増加)
利用率:85.8%(前期から0.6ポイント増加)

●航空事業の営業利益変動要因(前期との比較)

(単位 億円)



費用減の要因
 ・燃油費・燃料税……………△326億円
 ・空港使用料、機材費、人件費、外部委託費などの生産連動費用 ……+264億円
 ・販売手数料※7、広告宣伝費、機内サービス費、地上サービス費などの収入連動費用……………△111億円
 ・その他……………+7億円

2016～2020年度ANAグループ中期経営戦略(ローリング版2017)の概要

2016年度
2017～2020年度
2021年度～

〈環境変化〉

- ①米新政権発足
- ②英EU離脱
- ③テロ・地政学リスク
- ④競争激化
- ⑤雇用環境の変化

〈成長ステージへの備えの強化〉

- ①安全に関する総点検
- ②「人」への投資
- ③FSC※・LCCによる最適ポートフォリオの構築

〈成長ステージ～2020年度〉

- ①東京オリンピック・パラリンピック
- ②訪日旅客4,000万人
- ③首都圏空港発着枠の拡大

世界のリーディングエアライングループとしての地位確立への経営戦略の三本柱

エアライン事業領域の拡大

新規事業の創造と既存事業の成長加速(ノンエア事業)

攻めのスピード経営の実践

持続的成長へ

安全の堅持

●価値創造目標

	当期(2016年度)実績	2017年度目標	2020年度目標※
売上高	1兆7,652億円	1兆9,100億円	2兆1,600億円
営業利益	1,455億円	1,500億円	2,000億円
営業利益率	8.2%	7.9%	9.3%
ROE※1	11.6%	12.9%	9.8%
ROA※2	6.5%	6.4%	7.6%

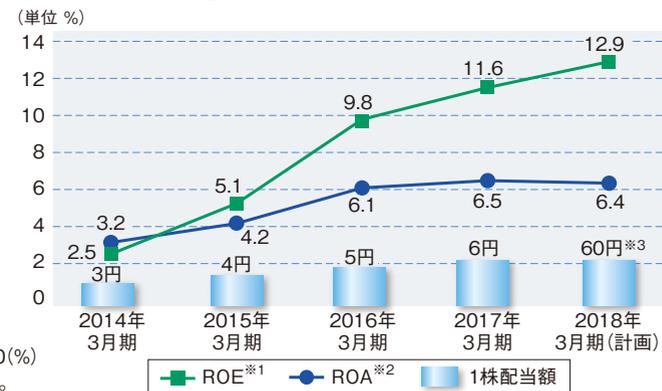
※「2016～2020年度ANAグループ中期経営戦略」の2016年1月29日発表時点の目標を据え置いています。

●2018年3月期 連結業績見通し

(単位 億円)	当期実績 (2017年3月期)	次期の見通し (2018年3月期)	増減
売上高	17,652	19,100	1,447
営業利益	1,455	1,500	44
経常利益	1,403	1,400	△3
親会社株主に帰属する当期純利益	988	1,250	261
1株配当額	6円	60円※3	—

※1 ROE(自己資本利益率)=当期純利益÷期中平均自己資本×100(%)
 ※2 ROA(総資産事業利益率)=(営業利益+受取利息+配当金)÷期中平均総資産×100(%)
 ※3 本年10月1日に予定している株式併合に伴い、配当額60円は従来の6円に相当します。

●財務指標と配当額の推移



2018年3月期に各事業で推進する施策と目標

※()内は当期差を示しています。

■航空事業

- 国際線旅客事業の成長促進。
- Peach Aviation株式会社の連結化を契機としたエアライン事業領域の拡大加速。
- 安全・品質の徹底とコストマネジメントの強化。

【目標】

売上高 1兆6,740億円(1,376億円増)
 営業利益 1,410億円 (14億円増)

■国内線旅客事業

- エアバスA321neo型機の導入等により保有機材を多様化し、需給適合を推進して収益性を確保。
- 訪日外国人旅客需要の開拓。

【収入目標】6,810億円(26億円増)

■国際線旅客事業

- 海外市場での認知度向上と訪日需要喚起のための販売力を強化。
- ボーイング787-9型機投入によるプロダクトサービスの充実。
- 羽田-ジャカルタ線増便。

【収入目標】5,710億円(542億円増)

■航空関連事業

- 海外エアラインからの旅客・貨物の地上支援業務、機内食製造等の受託を通じ、グループ収益へ貢献。

【目標】売上高 2,740億円(95億円増)
 営業利益 90億円 (6億円増)

■商社事業

- アジア市場を中心としたグローバルマーケティング強化、成長領域での収益拡大。

【目標】売上高 1,460億円(92億円増)
 営業利益 45億円 (1億円増)

■貨物事業

- 国内線: 旅客便ネットワーク活用による需要の確実な取り込み。
- 国際線: 需要変動への対応力強化と高付加価値貨物の獲得。

【収入目標】1,390億円(65億円増) ※郵便を含む。

■航空事業におけるその他

- バニラエアとPeachの2社体制で国内LCCトップシェアを確保し新たな需要を創出、訪日需要を取り込み。
- バニラエアは15機体制に、Peachは20機体制に増機。

【収入目標】2,830億円(742億円増)

■機材導入計画

導入	機材	数量
導入	ボーイング787-9型機	+6機
	エアバスA321neo型機	+6機
	エアバスA320neo型機	+3機
	ボンバルディアDHC-8-400型機	+3機
退役		△16機
増減		+2機

※LCCを除く。

■旅行事業

- ウェブサイトから予約できる旅行商品の競争力強化、高付加価値商品の拡充、訪日需要の取り込み強化。

【目標】売上高 1,700億円(93億円増)
 営業利益 45億円 (7億円増)

■その他

- 既存事業の構造改革、外部取引の拡大等を推進。

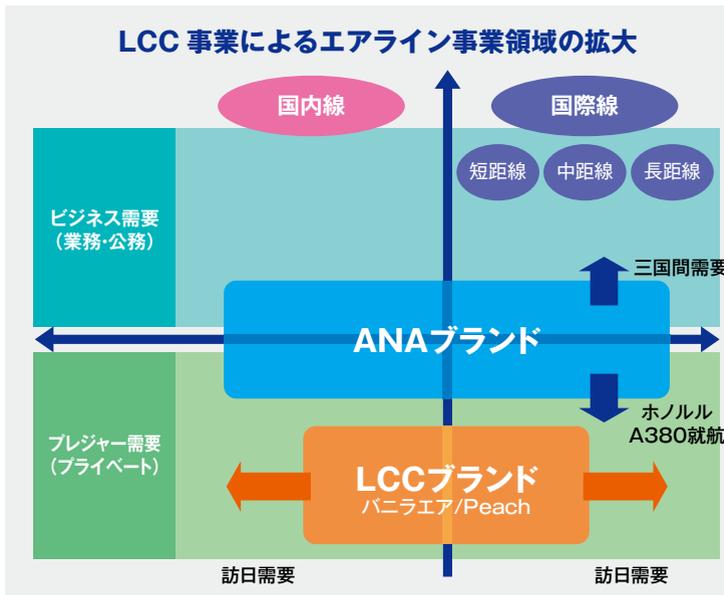
【目標】売上高 360億円(12億円増)
 営業利益 20億円 (6億円増)

成長するLCC市場に挑む —ANAグループの新LCC事業戦略

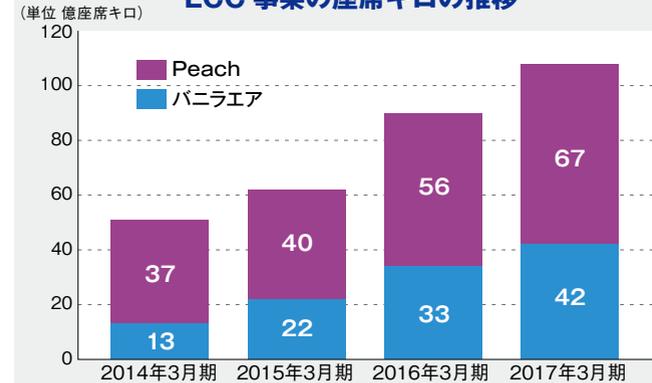
ANAホールディングスは2017年4月、日本初LCCのPeach Aviation (ピーチ・アビエーション=Peach) を連結化しました。成長するLCC市場に挑むANAグループの新LCC事業戦略をクローズアップします。

成長が期待される北東アジアマーケット

世界でのLCCの成長は著しく航空市場全体での座席シェアは、欧米では3割を超え、東南アジアでは既に5割を超えています。その中で、日本、中国、韓国などの北東アジアでの座席シェアは2割程度で、今後大きな成長が期待できます。ANAグループは、LCC事業を有望な事業分野の一つと捉え、潜在需要を掘り起こし、グループの収益基盤の一つとして育ててまいります。



LCC 事業の座席キロの推移



LCCとは: LCCはLow Cost Carrierの略称で、効率の良い低コスト運営により安い運賃を提供する航空会社のことです。日本では格安航空会社とも呼ばれています。米国で1980年代に誕生したLCCは世界に広がり、そのシェアは米国で31.8%、欧州で38.9%、東南アジアでは53.4%と急速に成長しています。

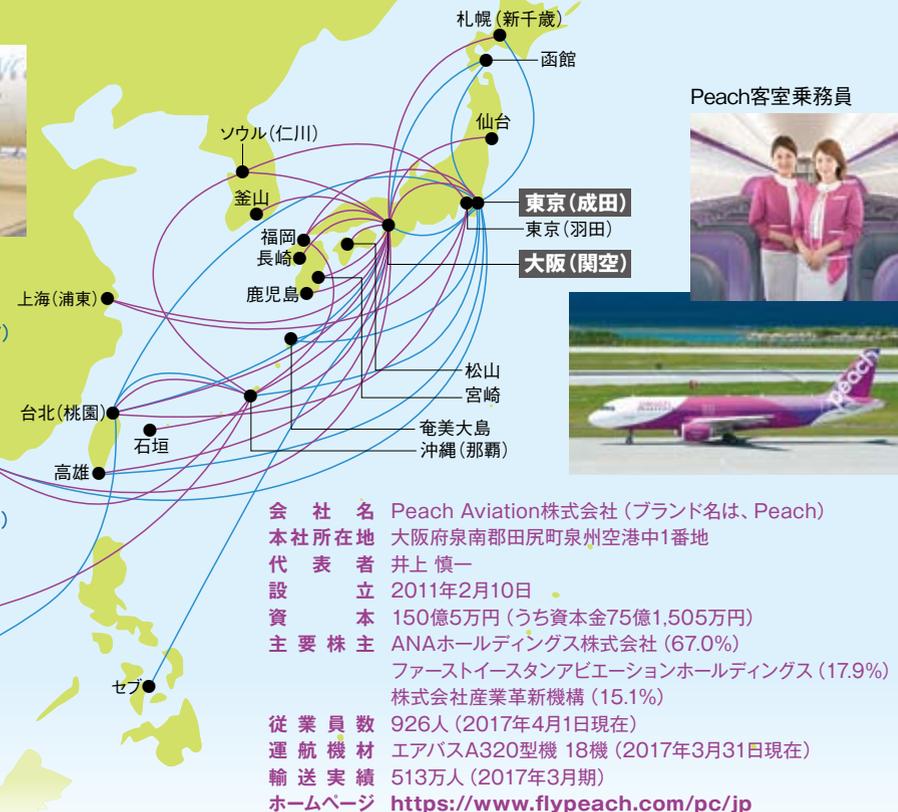


バニラエア客室乗務員

会社名 バニラ・エア株式会社 (ブランド名は、バニラエア)
 本社所在地 成田国際空港 第2旅客ターミナル内
 代表者 五島勝也
 設立 2011年8月31日
 資本金 150億円 (うち資本金75億円)
 主要株主 ANAホールディングス株式会社 (100%)
 従業員数 586人 (2017年4月1日現在)
 運航機材 エアバスA320型機 12機 (2017年3月31日現在)
 輸送実績 212万人 (2017年3月期)
 ホームページ <https://www.vanilla-air.com/jp/>

— バニラエア
 — Peach

就航路線は2017年7月1日予定のものです。



Peach客室乗務員



Vanilla Air 収益性を高め国際線中距離LCC市場進出を視野に入れています



五島勝也
 バニラ・エア株式会社
 代表取締役社長

2013年12月に成田空港を拠点に運航を開始したバニラエアは、2017年3月に累計搭乗者数500万人を達成しました。当社は現在、国内線7路線 (季節運航を含む)、国際線7路線に1日最大54便を運航し、日本のLCCで初となる以遠権を活用した成田-台北-

ホーチミン線や、初の海外リゾート路線となる成田-セブ線の開設など、新たな挑戦を交えながら路線ネットワークの拡充を進めているところです。また、お客様の利便性向上のため、国内外LCC8社による多国間LCCアライアンス「バリューアライアンス」の拡大に努めています。2017年度は15機体制に増強して、成田発着の国内線を拡充しながら収益性を向上させ、国際線中距離LCC市場進出も視野に入れています。

peach 空飛ぶ電車Peachが 地方創生にも貢献します

日本初のLCCとして、日本とアジアのかけ橋を目指す「空飛ぶ電車」をコンセプトに2012年3月に関西空港を拠点に運航を開始しました。14年7月に那覇空港を拠点空港に加え、15年8月には羽田空港にも就航するなど、国内線12路線、国際線13路線に就航し、毎日90便以上を運航して1万3千人以上のお客様にご利用いただいています。そのお客様の3割近くが20~30代の女性が占め、国際線の外国人のお客様比率が7割を超えるなど、新たな航空需要を開拓し、旅客数は累計で1,700万人を突破しました。2017年度はエアバスA320型機を20機に増機し、仙台空港、新千歳空港を順次、拠点空港にする予定です。関西空港から始まったLCCを通じた地方創生のモデルを、国内各地に展開して、就航地周辺の活性化に取り組んでまいります。



井上慎一
 Peach Aviation株式会社
 代表取締役CEO

バニラエア、Peachの両ブランドで LCC市場をリード

成長するLCC市場を見据えて、ANAホールディングスは2017年4月にPeach Aviation株式会社を連結化し、バニラエアとPeachの両ブランドでLCC市場に挑むことにしました。

両社の独自性を生かし、Full Service Carrier (フルサービスキャリア=既存の航空会社) とは一線を画した運賃設定や創意工夫をこらしたサービスの提供を通じて、国内外の潜在需要を掘り起こしていきます。

両社を合わせると国内LCC市場の座席数シェアは52%となり、ANAグループは日本のLCC市場をリードするポジションに立っています。バニラエアとPeachが切磋琢磨し競い合うことで、お客様の期待に応えるLCCに成長していきます。

ANAホールディングス

●2年連続3回目、「なでしこ銘柄」に選定

ANAホールディングスは3月23日、女性活躍推進に優れた企業として、経済産業省と東京証券取引所から平成28年度の「なでしこ銘柄」に選定されました。「なでしこ銘柄」への選定は2年連続3回目となります。今後とも、女性をはじめ社員一人ひとりが能力を発揮し、生き生きと働けることができる企業グループを目指しています。



なでしこ銘柄選定証授与式



なでしこ銘柄選定証

ANAセールス

●「ANA旅行積立ハワイ限定プラン」発売中!

ANAセールスは2019年春よりホノルル線に導入する世界最大の旅客機エアバスA380型機の特別塗装デザイン決定を記念して、「ANA旅行積立ハワイ限定プラン」を発売しています。通常の積立プランの最大金利3.0%(サービス額率)をA380にちなんで3.8%にした大変お得なプランです。ぜひ、ご利用ください。



詳しくは以下の専用サイトをご覧ください。

<http://www.anas.co.jp/hawaii/sumitate/>

ANA

●ANA新社長に平子裕志が就任

4月1日、全日本空輸(ANA)の代表取締役社長に平子裕志(ひらこ・ゆうじ)が就任しました。また同日、前ANA代表取締役社長の篠辺修は、ANAホールディングスの取締役副会長に就任しました。



ANAホールディングス副会長に就任した篠辺修(写真左)とANA社長に就任した平子裕志(写真右)

●世界最高評価「5スター」を5年連続で獲得!

ANAグループは3月31日、英国スカイトラックス社*が運営するワールド・エアライン・レーティングで、5年連続で世界最高評価となる「5スター」を獲得しました。「5スター」の認定を受けている航空会社は世界で9社、日本ではANAのみです。ANAグループはこれからも品質向上に努め、世界のお客様に安全で高品質な空の旅を提供してまいります。

*1989年に設立された、英国ロンドンに拠点を置く航空業界の格付け会社です。



●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を応援、HELLO 2020 JETが飛ぶ

ANAは4月1日、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功への思いを乗せて募集した特別デザイン機のデザインを、松本朝陽様(応募時のニックネームは、ASAHI様)の作品に決定し、愛称を「HELLO 2020 JET」としました。この飛行機は、2018年1月から日本各地の空を飛び回ります。



HELLO 2020 JET (B777-200型機)

●競泳・瀬戸大也選手と所属契約を締結

ANAは4月1日、競泳の瀬戸大也選手と所属契約を締結しました。世界水泳選手権400m個人メドレーの金メダリスト、リオデジャネイロ2016オリンピック競技大会の同種目の銅メダリストで、日本を代表する競泳選手として東京2020大会での活躍が期待される瀬戸選手を、ANAは全面的にバックアップしてまいります。



*ANAは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のオフィシャルパートナー(旅客航空輸送サービスカテゴリー)です。

全日空商事

●東京・新宿に空港型市中免税店をオープン

全日空商事と高島屋、ホテル新羅との合弁会社A&S高島屋デューティーフリーは4月27日、タカシマヤ タイムズスクエア 11階に東京・新宿地区では初となる空港型市中免税店「高島屋免税店 SHILLA&ANA」をオープンしました。訪日外国人旅行者の方はもちろん、出国を予定している日本人の方にもご利用いただけます。



<http://www.takashimaya-dfs.com>

ANAケータリングサービス、ANA FESTA

●ANAオリジナルサンドウィッチを販売開始!

ANAケータリングサービスとANA FESTAは、国際線のファーストクラスとビジネスクラスで提供するパンを使用したオリジナルサンドウィッチの製造・販売を4月20日から開始。3種類の商品*1を、羽田空港第2ターミナル内にあるANA FESTAの2店舗(61番ゲート店*2、到着ロビーギフトショップ)で好評販売中です。

*1 商品は予告なく変更することがございます。

*2 手荷物検査場通過後にある店舗です。



ソフトサラミとタマゴサラダの
フォカッチャサンド



タンドリーチキンの
フォカッチャサンド



スモークサーモンとクリームチーズの
クロワッサンサンド

ANA HOLDINGS Data

会社概要

2017年3月31日現在

商号	ANAホールディングス株式会社 ANA HOLDINGS INC.
設立	1952年12月
本社所在地	東京都港区東新橋一丁目5番2号
資本金	3,187億8,942万6,788円
従業員数	150人 (グループ従業員数 39,243人)

役員

2017年6月23日現在

取締役会長	伊東 信一郎
取締役副会長	篠辺 修
代表取締役社長	片野坂 真哉
代表取締役 副社長執行役員	長峯 豊之
取締役 執行役員	石坂 直人
	高田 直人
取締役	平子 裕志
	森 詳介(社外取締役)
	山本 亜土(社外取締役)
	小林 いずみ(社外取締役)
常勤監査役	大川 澄人(社外監査役)
	殿元 清司
	長谷川 昭彦
監査役	松尾 新吾(社外監査役)
	小川 英治(社外監査役)
上席執行役員	芝田 浩二
	菅原 貴与志
執行役員	福澤 一郎

株式の状況

2017年3月31日現在

発行可能株式総数	51億株 ^{※1}
発行済株式総数	35億1,642万5,257株 ^{※1}
株主数	521,569名(2016年9月末より20,243名減)

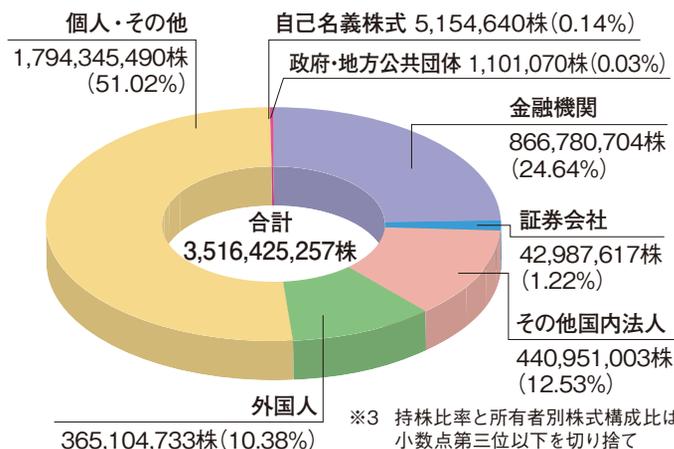
※1 2017年10月1日に株式併合を行い、変更となります。

●大株主(上位10名)

株主名	所有株式数 ^{※2}	持株比率 ^{※3}
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	121,289千株	3.44%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	99,317千株	2.82%
名古屋鉄道株式会社	73,067千株	2.07%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	68,193千株	1.93%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口1)	50,204千株	1.42%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口2)	50,132千株	1.42%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	41,770千株	1.18%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口7)	40,979千株	1.16%
東京海上日動火災保険株式会社	40,397千株	1.14%
全日空社員持株会	35,226千株	1.00%

※2 千株未満切り捨て

●所有者別株式の状況^{※3}



2017年度スケジュール(予定)

※下記のスケジュールは変更になる場合があります。

Aircraft 空を演出するフリート

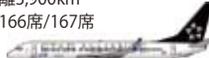
●ボーイング777-300(29機)

全幅60.9m(-300ER 64.8m)・全長73.9m・全高18.5m
航続距離3,800km(-300ER 14,900km)
座席数514席(-300ER 212席/250席/264席)



●ボーイング737-800(36機)

全幅35.8m・全長39.5m・全高12.5m
航続距離3,900km
座席数166席/167席



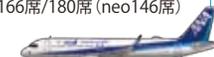
●ボーイング777-200(24機)

全幅60.9m・全長63.7m・全高18.5m
航続距離3,800km(-200ER 14,500km)
座席数405席(-200ER 223席/306席)



●エアバスA320-200(24機)※

全幅34.1m(neo35.8m)・全長37.6m・
全高11.8m(neo12.1m)
航続距離2,380km(neo5,790km)
座席数166席/180席(neo146席)



●ボーイング787-9(21機)

全幅60.1m・全長62.8m・全高17.0m
航続距離10,690km/14,960km
座席数215席/246席/395席



●エアバスA321ceo(4機)

全幅35.8m・全長44.5m・全高11.8m
航続距離2,720km
座席数194席



●ボーイング787-8(36機)

全幅60.1m・全長56.7m・全高16.9m
航続距離4,890km/12,020km/14,800km
座席数169席/240席/335席



●ボーイング737-700(7機)

全幅35.8m・全長33.6m・全高12.5m
航続距離4,900km
座席数120席



●ボーイング767-300(37機)

全幅47.6m(-300ERW 50.9m)・全長54.9m・全高15.9m
航続距離3,370km(-300ER 10,030km/10,820km)
座席数270席(-300ER 202席/214席)



●ボーイング737-500(17機)

全幅28.9m・全長31.0m・全高11.1m
航続距離2,780km
座席数126席



●ボーイング767-300F/300BCF(12機)(貨物専用機)

全幅47.6m(-300FW 50.9m)・全長54.9m・全高15.9m
航続距離5,970km(-300F)/
5,750km(-300BCF)(最大積載時)



●ボンバルディアDHC-8-400(21機)

全幅28.4m・全長32.8m・全高8.3m
航続距離2,020km
座席数74席



※エアバスA320-200型機には
パニラエアの運航機材12機を含みます。

合計 268機 (2017年3月31日現在)

上記のほか、当社が所有および賃借している航空機でグループ外へ賃貸している航空機が18機あります。また、上記にはPeachの航空機は含んでおりません。なお、航続距離は最新の性能データによるものです。

決算、基準日、株主の皆様へのご送付物など

2017年	4月	28日	■2016年度(2017年3月期)決算発表
	5月	12日	◆2017年3月末に1,000株以上所有の株主様対象 「上期発行株主優待」のご送付(発送済) ①株主優待番号ご案内書(有効期間2017年6月1日~2018年5月31日) ②ANAグループ優待券(有効期間2017年6月1日~2017年11月30日)
	6月	2日	◆2017年3月末に1,000株以上所有の株主様対象 「定時株主総会招集ご通知」のご送付(発送済)
		23日	■第72回 定時株主総会 ◆2017年3月末の全株主様対象 第72回 定時株主総会決議ご通知 ANA VISION(第67期のご報告)ご送付(発送済)
		26日	■期末配当金のお支払い
2018年	8月	上旬	■2017年度(2018年3月期)第1四半期決算発表 ◆ANA VISION(第68期第1四半期のご報告) ホームページに掲載
	9月	中旬 下旬 30日	■単元未満株式買増請求受付停止期間(9/14~9/29) ■単元未満株式買取請求受付停止期間(9/26~9/29) ■株主優待発行基準日(株主優待割当確定日) ※新規購入の場合、9/26が権利付最終日
	10月	1日 下旬	■単元株式数の変更及び株式併合の効力発生日 ■2017年度(2018年3月期)第2四半期決算発表
	11月	下旬	◆2017年9月末に1,000株以上所有の株主様対象 「下期発行株主優待」のご送付 ①株主優待番号ご案内書(有効期間2017年12月1日~2018年11月30日) ②ANAグループ優待券(有効期間2017年12月1日~2018年5月31日) ◆2017年9月末の単元未満株主様対象 ANA VISION(第68期第2四半期のご報告)ご送付 ◆2017年9月末に1,000株以上所有の株主様対象 2018年版 ANAカレンダー・ANA VISION (第68期第2四半期のご報告)ご送付
2018年	1月	下旬	■2017年度(2018年3月期)第3四半期決算発表
	2月	上旬	◆ANA VISION(第68期第3四半期のご報告) ホームページに掲載
	3月	中旬 下旬 31日	■単元未満株式買増請求受付停止期間(3/15~3/30) ■単元未満株式買取請求受付停止期間(3/27~3/30) ■期末配当金受領確定日 ■株主優待発行基準日(株主優待割当確定日) ※新規購入の場合、3/27が権利付最終日

単元株式数の変更及び 株式併合に関するお知らせ

本誌1ページ「第72回定時株主総会決議ご通知」の通り、
本年10月1日より変更となります。

詳細は本誌同封の「単元株式数の変更及び株式併合に
関するQ&A」のチラシをお読みください。

■単元株式数の変更

2017年9月30日まで → 単元株式数1,000株
2017年10月1日以降 → 単元株式数100株

■株式併合

2017年10月1日 → 10株を1株に併合

★小数点以下の端数株式数につきましては法令に基づき、全ての端数株式を当社
が一括して処分し、その代金を株主様の端数の割合に応じてお支払いします。

2018年3月末以降の株主優待サービスについて

■国内線ご搭乗優待

株主優待番号ご案内書の発行基準となるご所有株式数を
下記に変更します。

株主優待番号ご案内書発行枚数表

(1枚未満の端数は切り捨て)

ご所有株式数	【発行基準日 3月31日】 5月中旬発送 株主優待番号ご案内書 6/1から翌年5/31まで有効	【発行基準日 9月30日】 11月中旬発送 株主優待番号ご案内書 12/1から翌年11/30まで有効
100株~199株	1枚	1枚
200株~299株	2枚	2枚
300株~399株	3枚	3枚
400株~999株	4枚+400株超過分 200株ごとに1枚	4枚+400株超過分 200株ごとに1枚
1,000株~99,999株	7枚+1,000株超過分 400株ごとに1枚	7枚+1,000株超過分 400株ごとに1枚
100,000株~	254枚+100,000株超過分 800株ごとに1枚	254枚+100,000株超過分 800株ごとに1枚

■ANAグループ優待券

3月31日・9月30日に株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様に、お一人様1冊、送付します。

■ANA株主様カレンダー

9月30日に株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主
様に、お一人様1部、送付します。

ANAの株主優待サービス

発行基準日*	発送日	①国内線ご搭乗優待	②ANAグループご優待
3月31日	5月中旬 発送	株主優待番号ご案内書 有効期間6/1~翌年5/31	ANAグループ優待券上期分 有効期間6/1~11/30
9月30日	11月中旬 発送	株主優待番号ご案内書 有効期間12/1~翌年11/30	ANAグループ優待券下期分 有効期間12/1~翌年5/31

※株主優待発行基準日

●新規に株式をご購入される方は、発行基準日を含め4営業日前まで
に証券会社でご購入手続きをお済ませください。

次回(2017年11月発行分)は、2017年9月26日(火)が権利付最終日
となります。

●複数の証券会社をご利用の場合、届出住所と株主名が同一であれば、
お一人の株主として所有株式を合算(名寄せ)した上で取り扱い
いたします。

1 国内線ご搭乗優待

1,000株以上ご所有の株主の皆様に、ANAの国内全路線で
ご利用になれる株主優待番号ご案内書を発行いたします。

ご案内書記載の株主優待番号1つにつき、ANAの国内全路線
の片道1区間が、「株主優待割引運賃」(片道普通運賃の50%割引、
小児の場合は小児運賃*の50%割引)でご利用になります。

●「プレミアムクラス」をご利用の場合は、
普通席の「株主優待割引運賃」に所定
金額の追加が必要です。

●ご予約・空席状況・運賃等に関しては、
予約・案内センターまたは、ANAウェブ
サイトにてご照会ください。

※搭乗日の年齢が満3歳~11歳の人が対象。



2017年9月末までの株主優待番号ご案内書 発行枚数表

(1枚未満の端数は切り捨て)

ご所有株式数	【発行基準日 3月31日】 5月中旬発送 株主優待番号ご案内書 6/1から翌年5/31まで有効	【発行基準日 9月30日】 11月中旬発送 株主優待番号ご案内書 12/1から翌年11/30まで有効
1,000株~1,999株	1枚	1枚
2,000株~2,999株	2枚	2枚
3,000株~3,999株	3枚	3枚
4,000株~9,999株	4枚+4,000株超過分 2,000株ごとに1枚	4枚+4,000株超過分 2,000株ごとに1枚
10,000株~99,999株	7枚+10,000株超過分 4,000株ごとに1枚	7枚+10,000株超過分 4,000株ごとに1枚
1,000,000株~	254枚+1,000,000株超過分 8,000株ごとに1枚	254枚+1,000,000株超過分 8,000株ごとに1枚

インターネットからもご覧になれます。

ANAホールディングス | 検索 | → 株主・投資家情報 → 株式情報 → 株主優待のご案内

株主優待割引運賃用の座席数に関するお知らせ

当社グループの事業基盤である国内線旅客事業の収益を
維持していくために、2016年6月1日より一部期間の一部の便で、
株主優待割引運賃用の座席数を定めた上で、これを上限と
してご予約を承る方法に変更させていただいております。何とぞ
ご理解のほど、お願い申し上げます。

座席数に上限を 定めさせていただく期間	左記期間内、特にご予約が取りづらくなる期間		
	便名が奇数の便	便名が偶数の便	
2017年	7/14~7/17	7/15	7/17
	8/9~8/20	8/10~8/12	8/14~8/16
	9/15~9/18	9/16	9/18
	10/6~10/9	10/7	10/9
	11/3~11/5	11/3	11/5
2017年 2018年	12/28~1/4, 1/6	12/28~12/31, 1/6	1/2~1/4, 1/6
	2/9~2/12	2/10	2/12
	4/27~5/6	4/28~5/3	5/5, 5/6

※ご予約状況等により、上記期間を変更させていただく場合がございます。

2 ANAグループご優待

2017年3月31日・9月30日に株主名簿に記載
された1,000株以上ご所有の株主様に、お一人様
1冊、ANAグループ優待券を発行いたします。



■IHG・ANA・ホテルズグループジャパンの ご優待

- ご宿泊料金(ベストフレキシブル料金(室料のみ)の20%割引券6枚)
- レストラン・バーご飲食代(10%割引券5枚)
- ご婚礼のご飲食代(10%割引券1枚)
- 会議・一般ご宴会室料(15%割引券3枚)

ベストフレキシブル料金(室料のみ)とは

ご予約日やご滞在の日程によって料金が変動するお得な変動型
のご宿泊料金です。

ご優待内容について

株主様には、上記のお得なベストフレキシブル料金(室料のみ)から、
さらに20%割引の特別料金をご提供させていただきます。詳しくは予約
センターまたは各ホテルへお問い合わせください。

東京予約センター ☎0120-029-501(平日・土・祝 9:00~18:00/日休)

■海外・国内旅行

パッケージツアー商品のご優待

- ANAスカイホリデー(国内ツアー)
 - ANAハローツアー(海外ツアー)
 - ANA大人のゆとり旅(海外ツアー)
 - ANAワンダーアース(海外ツアー)
- (各7%割引券2枚)



■空港内売店・免税店のご優待(10%割引券5枚)



ANA FESTA



ANA DUTY FREE SHOP

■株主様限定通信販売

詳細は「ANAグループ優待券」の
冊子をご覧ください。

■ゴルフプレー料金のご優待

- 「武蔵の杜カントリークラブ」(埼玉)
(割引券4枚)
- 「はやさたカントリー倶楽部」(北海道)
(割引券3枚)



武蔵の杜
カントリークラブ

*なお、ここに記載した「ANAグループ優待券」の内容は2017年
上期発行のものであり、今後変更になることもございます。

ANAの株主優待サービス Q&A

Q 株主優待サービスを利用したいのですが、いつまでに株式を
購入すればいいですか?

A 新規に株式を購入される方は、発行基準日(3月31日、9月30日)を含め
4営業日前(権利付最終日)までに、ご購入手続きをお済ませください。

Q 株主優待番号ご案内書はコードシェア便でも使えますか?

A ANA国内線運航便のほかに、エア・ドゥ(ADO)、IBEXエアラインズ(IBX)、
ソラシド エア(SNA)、スターフライヤー(SFJ)、オリエンタルエアブリッジ
(ORC)が運航するANA便名のコードシェア便もご利用になります。

Q 株主優待番号ご案内書は国際線に使えますか?

A 国際線のご搭乗にはご利用になれません。

株主メモ

■ 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
■ 定時株主総会	毎年4月1日から3カ月以内に開催
■ 基準日	定時株主総会権利行使確定日 毎年3月31日 期末配当金受領確定日 毎年3月31日 ※中間配当金制度は採用しておりません。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 株主優待割当確定日 毎年3月31日および9月30日
■ 単元株式数	1,000株(2017年10月1日以降は100株)
■ 公告の方法	当社のホームページに掲載します。 ANAホールディングス <input type="button" value="検索"/>
■ 証券コード	9202

ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。

■ 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■ 株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
■ 郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
■ 電話照会先(通話料無料)	 0120-782-031 (平日9:00~17:00/土・日・祝休)
■ ホームページ	<input type="text" value="三井住友信託銀行証券代行部"/> <input type="button" value="検索"/>

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、お取引の証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上に記載の電話照会先までご連絡ください。

「株主様専用サイト」にご登録はお済みですか？

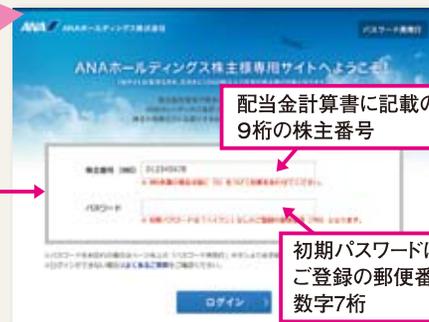
1,000株以上(2018年3月末以降は100株以上)ご所有の株主様を対象に、「株主様専用サイト」を開設しています。ご登録いただきますと各種お知らせやおトクな情報などをタイムリーにメール配信いたします！

既にご登録されている株主様は、改めてのご登録は不要です。

ANA 株主・投資家情報



●「株主様専用サイト」をクリック



●株主番号・パスワードを入力してログイン

<https://sh.anahd.co.jp>

ANAホールディングス株式会社 www.ana.co.jp/group/

ANAホールディングス

〒105-7140 東京都港区東新橋一丁目5番2号 汐留シティセンター

コーポレートコミュニケーション室 グループ総務部 株式チーム

電話03-6735-1001(受付時間 平日9:00~12:00/13:00~17:00/土・日・祝・12/29~1/3 休)

本冊子は環境に配慮した用紙、インクを使用しています。

